



進路だより

令和7年度 第2号
令和7年 6月12日
島根県立大東高等学校
進路部 発行

1年進路講演会を実施しました(6/9(月))

今回の1年進路講演会では、山内太地氏(作家、コンサルタント、教育系 YouTuber)に来校いただき、「将来の進路の考え方」というタイトルで講演をしていただきました。

山内先生は自ら教育系 YouTuberと言われているだけあって、早いテンポで話をされ、10分くらい話したら2分休憩というのを3回繰り返すという形態で説明されました。講演のトピックは以下の通りです。

「進学の特長(言われたことをやる人から→言われた以上のことをやる人になる、大学の先生は「研究者」新しいことにチャレンジしている)」

「能動的な学習の大切さ(①計画を立てる ②実行する ③結果を出す)」

「仕事ができる人になるためには、与えられたモノだけではダメで、本を読んだり、様々なことに関心を持ち、自分で調べ、行動し、発表したりすることが大切である」

「大学の学部の内容」

「大学と専門学校の違い」

「専門学校は2種類(「技術」の専門学校と「才能」の専門学校)」

「あなたがなるべき社会人(①言われたことだけやってたらダメ

②チャンスを与えられたら飛びつく ③自分でチャンス(新しい仕事)を作り出す)」

「私の強みって何?(①個性、能力、実績 ②それが相手に伝わる面接、プレゼンテーション、書類選考、小論文)」

「大学受験の方法(①一般選抜・共通テスト ②総合型選抜「将来のビジョン」「活動実績・能力」「明確な志望理由」 ③学校推薦型選抜)」

「大学の3ポリ(アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー)を読んで志望理由書を書いてみるの大切さ(①なぜその大学に入りたいの? ②そのために高校で何をがんばるの? ③大学を出たら、どうなりたいの?)」

「①ウチの大学(会社)じゃなきゃいけない理由 志望動機、目的 ②(大学にとって)あなたじゃなきゃいけない理由 自己PR、必殺技」

「今すぐできること(①帰ったらすぐ勉強 ②15分勉強法 ③好きになるよう工夫する)」

「スマホとの戦い(時間の管理 スマホ時間を削る。睡眠時間は削らない。勉強時間にまわる。)」

「目標を書いて、冷蔵庫に貼り、音読する。」

「行ける進路ではなく行きたい進路へ」

など幅広い進路に関する話を聴くことができました。

最後の15分は質問コーナーで、5名が前に出て直接山内さんに質問し、それに対して山内さんが詳しく回答されました。

生徒の皆さんにとって進路を考える上で貴重な機会になったと思います。



生徒の皆さんの感想をいくつかご紹介します。

- ・自分が進学するところや、さらにその先の就職することに向けて今から準備をする必要があることを理解したので、自分にできることをしていこうと思った。
- ・進路について不明な点があったので、わかりやすく全部話してくれてすっきりした。
- ・行ける大学ではなく、自分がやりたいことができる場所に進学することが大事だなと思いました。
- ・大学進学を選択に役立つことを沢山聞いたのでよかったです。
- ・今回の講演を聞いて、大学や学部をどこにするのか決めてみようと思いました。
- ・大学受験へのモチベーションになりました。今日言われたことをやってみようと思いました。ありがとうございました。
- ・午後だったけどねむくなりませんでした。大学には行きたいけど、どのように行動すればいいかわからなかったけど、今日の講演を聞いて、これから何を考えてどう行動すればいいかなんとなくわかりました。
- ・自分がまだ知らない大学のことを知れてよかったし、合格するのに大事なことを教えてもらったので冷蔵庫にはって合格したいと思います。
- ・自分の行きたい進路に行けるようにするための秘けつやコツ、意識すべきことを分かりやすく教えてくださり、ありがとうございました。今日からできることが多く他のライバルより意識を高くもって大学選びやこれからの高校生活に生かしていきたいと思いました。本当にありがとうございました。
- ・東大合格者の84.8%の人が受験勉強を面白いと感じていることを知り、びっくりしました。また、今日の講演を聞いて能動的な学習をこれからがんばっていきなさいと思いました。これからはもっと大事にしていくことは①予習②自習③復習を毎日1時間はしっかりやっていこうと思いました。
- ・大学に受かるためには、何をすればいいのかわからない、どんな人をほしがっているのかわかなくて良かった。家に帰ってすぐスマホじゃなくて、15分でも勉強に取り組むようにしたい。
- ・大学受験のために「将来のビジョン」「活動実績・能力」「明確な志望理由」を今のうちからしっかり考えておくことが大切だとわかったので考えておきたいです。
- ・私はまだ進路があまり決まっていなくて、今日の話を聞いて今からできることを自分からさがして行動していきたいと思いました。自分の強みなどを見つけて、自分の行きたい学校を見つけていきたいと思いました。
- ・今まで専門学校と大学の違いがわからなくて、勉強を長くしたくないという理由だけで専門学校にしようかなという考え方でした。しかし、今回の講演で自分の中で考えが変わったし、ポイントも知れたのですごくためになりました。
- ・大学をとりあえず合格を目標にしただけで、合格してから何をしたいか、卒業してからどうなりたいかを1年生のうちから考えることが大切だとわかった。声に出すことで、自分がそうなるように行動するというのはよく聞くので、小さな目標でも声に出して行動するようにしたいです。
- ・大学受験は考えていないけど、就職する参考になりました。ありがとうございました。
- ・普段の生活がスマホを見たりゲームやマンガを見たりしていることが多いのでその時間を減らして、今から将来の大学受験や大学の後のことを考えて行動していくことが大切であるとあらためて知り、自分に負けないようにがんばりたいと思いました。



教育実習生から生徒の皆さんへのメッセージ

今年度は5名の卒業生が教育実習に来られていました。その教育実習生の皆さんから大東高校生に向けてのメッセージをいただきました。ぜひ参考にしてください。

田中 透伍 さん 英語科（九州大学 文学部 人文学科 英文学専攻）

九州大学文学部英文学専攻 4 年の田中透伍と申します。自身の経験から、受験において重要かもしれないことをいくつかお伝えしておきたいと思います。

1 つ目は、どこに進学して何をしたいかを今、明確にしておくことです。もうすでに決まっている方は問題ないですが、まだ決まっていない方は自分が希望する学部・分野について改めて内省してみてください。なんとなくで進学先を決めてしまうと入学してから後悔することになってしまうので、できる限りそうならないように、なるべく早い段階からビジョンを明確にしておくとういと思います。

2 つ目は、睡眠をしっかり取ることです。寝る間を惜しんで勉強に時間を充てる方もいるかと思いますが、学校の定期試験などでは通用したとしても、受験においては通用しないやり方かと思います。私が 3 年生の時、「受験期にいかに睡眠時間を削って勉強したか」ということが語られたおぼえがありますが、十分な睡眠(できれば 8 時間以上)をとるほうが賢明かと思います。

そう遠くない未来において、皆々様が満足のゆく結果が得られるようお祈り申し上げます。

三原 大空 さん 保健体育科（福山平成大学 福祉健康学部 健康スポーツ科学科）

福山平成大学、福祉健康学部、健康スポーツ科学科 4 年の三原大空です。

高校生の皆さんはぜひ今の環境を思う存分楽しんで欲しいと思います。大学に入って 4 年目になりますが、今でも高校生の頃の思い出が鮮明に残っています。私は男子バレーボール部に所属し、毎日のように部活動に打ち込んでいました。日々の練習や、遠征、大会など多くの苦楽を共にした仲間たちはかけがえのない存在です。

部活動だけでなく文化祭や体育祭、研修旅行をはじめとする多くのイベントがあるかと思います。私たちの代はコロナウイルスの影響もあり、研修旅行は中止。学園祭はかなりの制限があるなかで行われました。高校生活は、長い人生の中で限られた、かけがえのない時間だと思っています。今の仲間と過ごす日々や、いろいろなことに挑戦する経験が、これから先の人生の大きな支えになると思います。

今回教育実習を通して生徒の皆さんと関わる中で、自分自身の高校生時代を思い出しながら、「どうすれば伝わるか」「どうすれば心に残るか」を考える難しさと向き合いました。その中で、自分自身も多くのことを学び直し、言葉の重みや、教えることの奥深さを感じました。これから進路や将来のことを考えていく中で、悩んだり不安になったりすることもあると思います。ですが、たくさん悩んで、たくさん挑戦して、自分のペースでしっかり前に進んでください。短い間でしたが、生徒の皆さんと出会い、一緒に学び会えたことを心から嬉しく思います。本当にありがとうございました。応援しています。

森山 大朗 さん 地歴公民科（大阪大谷大学 文学部 歴史文化学科）

皆さんこんにちは。この度教育実習でお世話になりました、大阪大谷大学文学部歴史文化学科4回生森山大朗です。今回は、私から皆さんに「進路」のことについて少しだけお話しさせていただきます。

私は高校生の頃、将来の夢や目標が明確に決まっておらず、「自分は何をしたいのか」「どの道に進むべきなのか」がよく分からないまま過ごしていました。とりあえず漠然と「大学には進学しよう」と考えていたものの、「どんな分野を学びたいのか」「何に向いているのか」などは曖昧なままで、なかなか決断することができずにいました。最終的な進路が決まったのも、本当にギリギリになってしまった記憶があります。

皆さんも高校生活の中で進路について悩んでいる人も少なくないと思います。不安や焦りを感じている人もいるかもしれませんが、悩むことは決して悪いことではありません。進路とはあらかじめ決められているものではないし、答えがあるものでもありません。今は目標がなくても大丈夫です。私自身も今のところ何とかなっています。どの

選択にも様々な出会いや学び、成長があります。そしてその中で、少しずつ自分の進みたい道、やりたいことが見えてくると思います。だからこそ焦らずに、納得できる進路選択ができるように願っています。

最後に、高校生活を全力で楽しんでください。遊びも勉強も部活も全力でやった方が多くの思い出が残ります。何もしないと後で後悔してしまいます。高校生活は長いようで、あっという間に過ぎ去ってしまいます。後悔しないように 1 日 1 日を大切に全力で楽しんで、最高の高校生活を送ってください。

内田 幸志郎 さん 保健体育科（福山平成大学 福祉健康学部 健康スポーツ科学科）

福山平成大学福祉健康学部健康スポーツ科学科4年内田幸志郎です。まずは、三週間本当にお世話になりました。

私から皆さんにお伝えしたいことは、未来への道は一本道ではないということです。私は、高校3年間を部活動と勉強に捧げました。専門はビーチバレーとバレーボールで、高校三年生の時にはビーチバレーに本気で向き合いました。国体に出場するため日々練習に励んでいたのですが国体開催が迫ったある日、コロナ蔓延による突然の国体中止が知らされました。当時国体に向けて、夏休みはもちろんのこと学校が終わると顧問の先生に出雲の浜まで連れて行ってもらいビーチバレーの練習を行うくらいビーチバレーに熱中していたため、中止と聞いた時は目の前が真っ暗になりました。ビーチバレーの強い大学に進学したいと思い勉強にシフトチェンジしますが、受験に失敗します。なんとか大学に進学した私は本気で向き合ったビーチバレーを諦めることができず、私の進学した大学にはビーチバレーに関する部活やサークルがなかったため、ビーチバレーサークルを創設し一年目で全日本学生選手権（インターカレッジ）に出場しました。そこで私は、自分の進む道に正解はなく、いかに進む道を正解にできるかが大切だと思いました。そして、何かに本気で打ち込むことが自分の進む道を正解に近づけてくれる鍵になるのではないかと思います。

これから先の人生において、失敗や挫折はつきものだと思います。私であれば、国体の中止や受験が該当しますが、それらの失敗や挫折がなければ今の私はいません。もしかしたら教育実習にも来ていなくて、皆さんと会うことができていなかったかもしれません。人間だれしもすべてのことに本気で取り組むのは難しいですが、何か一つでも本気で取り組むことができれば皆さんにとってきつといい未来が待っていると思うので頑張ってください。

糸川 静悟 さん 国語科（島根大学 法文学部 言語文化学科）

皆さん、こんにちは。島根大学法文学部言語文化学科 4 年の糸川静悟です。2 週間の間、教育実習生として大東高校でお世話になりました。今回は進路選択や大学生活を送るうえで大切なことについて、私自身の経験を踏まえてお話ししたいと思います。

進路を選ぶ際には、「自分は何をやりたいのか」「将来どんな仕事に就きたいのか」といったことを明確にすることが大切です。とはいえ私自身は高校生の頃、それがはっきりせず、漠然とした気持ちで日々を過ごしていました。そんな中で、「国語の教科書から小説がなくなるかもしれない」という話題に強い関心を持つようになりました。小説が好きだったという個人的な思いもありますが、それ以上に、小説に触れる機会が減ってしまうことが残念だという気持ちがあったからです。そこから、「小説がなぜ必要なのか」「物語に触れることにはどんな意味があるのか」といった問いを持ち、調べたり考えたりするようになりました。

この経験を通して、自分が本当に関心を持てることに気づき、それが進路選択の大きなきっかけとなりました。大学では自分の行動や選択に対して責任を持ち、主体的に学びを深めていく姿勢が求められます。主体的に行動することは、「自分はなぜこれをするのか」という行動の基盤を自分自身の中に持つことだと思います。そのためにも、日々の中で「自分は何に興味があるのか」といった問いを持続することが大切です。私の場合は問いを持続けるなかで、言葉に関わる仕事、そして教育に関心を持つようになりました。

進路を考えるうえで、不安を感じる人も多いと思います。日々の学校生活が忙しく、じっくり考える時間が取れない人もいるかもしれません。しかし、大東高校には皆さんを支えてくれる先生方や相談できる環境が整っていると思います。あまり気負わずに、しかし真剣に自らの進路と向き合ってみてください。